

栃の木からの手紙

2023年 皐月 5月号



4月18日の藻琴山の残雪の様。こちらは、雪が融けた黒っぽい部分が作り出す模様で、「人」が横に倒れている様に見えています。例年で考えると、5月上旬頃の様子で、蒔き付け作業が終りに近づく頃に現れる模様。

蒔き付け作業が始まる前から人が倒れている？と、いう事は、歳のせい？遊びすぎ？

5日：立夏：満月 旧 3月 17日

20日：新月 旧 4月 1日

21日：小満



一般の畑では既に4月14日15日に一般用食用芋、4月20日21日に澱粉用芋の植付けを完了させています。例年より1週間位早く作業が進んでいます。ビートの移植作業は4月28日から5月4日で完了しています。

枯れた越冬エン麦に覆われていた自然農法の畑は、4月19日9本爪の機械を入れました。



畑の表面には、上写真の様な雑草が生育していました。5月になって雑草の様子を見るとナズナである事が解り例年通りである事を理解しました。

李の花が咲き始めた5月5日、正転ロータリーで残渣物のすきこみ作業を行いました。

この冬、一般の秋播き小麦の畑でも確認できた事として、越冬エン麦は、小麦畑でも春には枯れます。



ビートポットに発生している糸状菌を採集してみました。残りご飯をおにぎりにして菌の上をコロコロした

たもの。良い菌糸が作物の根に絡むと生育が良くなるようです。